

令和2年(2020年)度 GSI キャラバン 研究プロジェクト

採択課題：中東国際政治における主要地域大国と域外大国の関係をめぐる実地調査と対話

研究代表者：池内恵（先端科学技術研究センター・教授）

プロジェクト概要

このプロジェクトは、地域秩序の変動過程にある中東の国際政治を、台頭する地域大国に着目し、グローバルな大国間政治のパワーバランスの変化を背景要因として視野に入れ、主要地域大国と域外大国の関係に焦点をあてて分析する。

2011年のエジプトに端を発した「アラブの春」による中東各国の政権の動揺以後に、内戦・破綻国家が数多く出現する中で、トルコ、イラン、イスラエル、サウジアラビア等が地域大国として台頭している。背景には米国の中東からの漸次撤退の傾向や、ロシアや中国による中東への関与の高まりがある。

さらに、2020年初頭からの新型コロナウイルス問題の広がりや、イランやサウジアラビアなど権力中枢への影響や一般社会・経済への打撃を与え、そして人的な国際移動の途絶は、中東諸国の内政と外交に新たな問題を引き起こしつつある。

本プロジェクトでは、中東の主要地域大国が、中東に影響を及ぼしてきた大国間の勢力バランスの変化をどのように認識し、自らの固有の置かれた環境とその地位をいかなるものとして認識し、並び立つ地域大国・強国との関係の中で地歩を確保し、影響力・存在感を拡大しようとしていき、それがいかなる地域国際政治の中での対外政策につながっているのか、最新の情勢を現地の専門家との議論・対話を通じて把握していく。その際には、中東の視点からの地政学や勢力圏をめぐる思想的な世界認識の次元と、それを踏まえて策定され実施される、近隣諸国への介入や軍事行動や対テロ作戦といった政策の次元の両方に取り組み、思想研究に裏打ちされた現実政治・国際関係の研究へと昇華させていく。

そのため、このプロジェクトではユダヤ教・キリスト教・イスラーム教という中東を発祥とし、現在も中東において固有の発展を遂げ、社会生活に強い影響力を及ぼしている思想体系に関する、宗教学的・哲学的な深い探求を行ってきた研究者と、グローバルな大国間政治の主要な課題であり続け、様々な国際紛争や世界的な危機の震源となってきた中東諸国・中東国際政治の最新の情勢の研究者が協働して、現地の研究機関との学術対話を積み重ねていく。中東の宗教思想・哲学研究を基礎にして、中東の主要地域大国それぞれの固有の世界認識の視座を内在的に理解し、特有の脅威認識や戦略目的に基づく相互関係を把握しつつ、地政学的な空間認識に根ざした現実主義的・権力政治を主眼とした中東各国の国際政治・安全保障政策を解説していく。

本プロジェクトで、研究者間の国際的な研究協力と対話の相手側として重点を置く国は、トルコ、イスラエル、エジプトである。トルコはシリア内戦やイラク国家再建、あるいはリビアやソマリアやスーダンなどの紛争において、中東域内の主要な仲介・介入主体として台頭し、隣接するロシアの中東関与と時に協調、時に対立しながら、独自の地歩を築き、プレゼンスを高めている。トルコの民族的・宗教的・文明論的な自己認識と、オスマン帝国の歴史的背景を持つ中東地域秩序への構想、米国やロシアや中国など域外大国との関係が、いかにして現在のトルコの中東地域国際政治への対外政策につながっているのかは一つの重要な解明課題である。

イスラエルは、従来であれば、西欧や米国の支援によって外挿された、中東域内の秩序の中では異質な存在とみなされ、パレスチナ問題の元凶として紛争の原因・責任主体としてのみ取り上げられる傾向があった。しかし近年は、エジプトやヨルダンとの深い関係や、サウジアラビアなど湾岸産油国との水面下での安全保障上の協力関係の構築により、中東地域に一定の正統性をもって定着したものとみなされ、軍事力や技術力、情報力などを駆使して、影響力を拡大している。イスラエルは世俗主義国家を謳っているが、その民族意識の根幹・根拠はまぎれもなくユダヤ教思想にあり、共通性の高いイスラーム教やキリスト教思想との相互の影響や競争関係は継続して存在するだけでなく、スンニ派とシーア派に分岐するイスラーム教思想の発展とも、相互関係を持っている。中東に定着し、学術的な先進性を持つイスラエルを中心とし、アラブ諸国やイラン・トルコを巻き込む、中東の知的・思想的再編と、それに根ざした世界認識・地域・国際政治認識の変化は、最先端の探求の課題である。

エジプトは、「アラブの春」以後に地域・国際政治の上での存在感を一時的に低下させているが、厚みのある中間層を抱えたアラブ世界の大国として、学術的にも、地政学的にも依然として一定の影響力を維持しており、石油価格低下や各地の地域紛争の持続と介入の不首尾により、湾岸産油国の存在感の揺らぎが見られる中で、再び影響力を確保する見通しもある。

このように、トルコ・イスラエル・エジプトの主要研究機関や研究者との緊密な交流・対話により、中東の地域秩序の再編過程を、思想や宗教的な深層を踏まえながら、政治・国際関係の情勢認識を通じて把握していくのが、本プロジェクトの基本課題となる。